

**コンゴ(民)月例報告
政治関連
2018年8月**

主な出来事

- 1日、ベンバ MLC 党首が11年ぶりに帰国した。2日には、独立国家選挙委員会 (CENI) 本部を訪れて選挙人登録カードを作成して大統領選挙の立候補届出を行い、4日朝には、ンジリ国際空港から南ウバンギ州ゲメナに向かい、5日には、ゲメナからンジリ国際空港を経由して、ブリュッセルに向けて出発した。
- 8日、カビラ大統領は、ラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記 (前副首相兼内務・治安相) を後継者候補に指名し、同日「ラ」常任書記は、CENI で大統領選挙の立候補届出を行った。
- 17-18日、カビラ大統領は第38回 SADC 首脳会合のため、ウイントフックを訪問した。17日、カビラ大統領はラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記を、参加していた首脳に紹介した。
- 24日深夜、CENI は、大統領選挙及び国民議会選挙の立候補者暫定リストを発表し、立候補者25名のうち、ベンバ MLC 党首を含む6名が不受理と判断され、暫定リストには19名が記載された。国民議会選挙 (定数500) の暫定リストには15, 222名が記載された。
- 26日、カビラ大統領は、ムナンガグワ・ジンバブエ大統領の就任式に出席するためハラレに到着し、27日までジンバブエに滞在した。

1. 内政

(1)カビラ大統領がラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記を後継者に指名

・8日、メンデ政府報道官は記者会見を行い、カビラ大統領のイニシアチブによる選挙のためのグループ「FCC (Front Commun du Congo, コンゴ統一戦線)」選出の大統領選挙立候補者はラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記 (前副首相兼内務・治安相) であると発表した。ラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記は同日午後、独立国家選挙委員会 (CENI) で立候補の届出を行った。

(2)野党の動向

ア ベンバ MLC 党首の帰国

・1日、ジャン＝ピエール・ベンバ MLC 党首が11年ぶりに帰国した。ベンバ党首は MLC 本部を訪れた後、カルチエ GB (ベンバ・グループ) と呼ばれるベンバ家が所有する土地一帯にある家族所有の住居に向かった。警察によると、集まった市民に数名の負傷者が発生したが、死者は出ていない。

・2日、ベンバ党首は同日午後、妻や MLC 関係者とともに4時間以上にわたって独立国家選挙委員会 (CENI) 本部を訪れ、選挙人登録カードを作成し、大統領選挙の立候補届出を行った。

・4日朝、ベンバ 党首は夫人や MLC 関係者とともに、1日の到着時と同じチャーター機に乗り、ンジリ国際空港から南ウバンギ州ゲメナに向かい、5日には、ゲメナからンジリ国際空港を経由して、ブリュッセルに向けて出発した。

イ カトゥンビ元カタンガ州知事の帰国に関する動き

・3日、カトゥンビ元カタンガ州知事がコンゴ (民) の民間航空当局に申請した、自身を含む7名が搭乗する航空機のルブンバシ市ルアノ空港への着陸許可申請が却下されたことを受け、まず同機は、ヨハネスブルグからザンビアのンドラ (Ndola) まで飛行し、そこから一行はコンゴ (民) との国境カスンバレサ (Kasumbalesa) まで陸路で移動した。午前中にザンビア側のカスンバレサに到着

したカトゥンビ氏一行は、ザンビア当局と協議を行ったが、出国は許可されず、コンゴ(民)側の入国管理事務所は閉鎖されたままであった。

・4日夕方、カミタツ ARC 党首(カトゥンビ氏の公式報道官)は自身のツイッターで、「ザンビア政府はカトゥンビ氏に対し公式に、コンゴ(民)当局が国境を越えることを拒否した」「我々はカスンバレサを離れる」と述べた。

・カトゥンビ氏が代表を務める選挙のための野党グループ「Ensemble(アンサンブル)」のセサンガ幹事長(ENVOL 党首)は、カトゥンビ氏の帰国に対する一連の妨害に関し、国務院(Conseil d'Etat)に申立てを行ったと述べた(10付 AFP)

ウ UNC の党会議及びカメレ党首の大統領選挙立候補

・2日、カメレ党首率いる UNC は、3日間の予定で第2回党会議を開始し、フェリックス・チセケディ UDPS 党首及びバザイバ MLC 幹事長も参加した。同会議でカメレ党首は同党の大統領候補に選出された(3日付 Le Potentiel 紙)。

・6日、カメレ党首は GENI に大統領選挙の立候補届出を行った。

エ フェリックス・チセケディ UDPS 党首の大統領選挙立候補

・7日、フェリックス・チセケディ UDPS 党首は GENI に大統領選挙立候補届出を行った。

オ その他大統領選挙立候補の動き

・8日、ムジト元首相は GENI に大統領選挙立候補届出を行った。ムジト元首相は PALU(統一ルムンバ派)の内紛で、大統領多数派(MP)とは一線を画す立場となっている。

・8日、ファユル ECiDe 党首(野党プラットフォーム「Rassemblement」所属)は GENI に立候補届出を行った。

(3) 独立国家選挙委員会(GENI)の動向

ア 35,000台の投票機器が韓国の港を出発

・6日、GENI は、35,000台の投票機器(machine a voter)が韓国の仁川港からマタディ港に向けて出発したと発表した。

イ 州議会選挙立候補者名最終リスト

・18日、GENI は、州議会選挙の立候補者に関し、控訴院(Cours d'appel)に提出された217件の不服申し立てのうち、207件が不受理と判断され、(定数715議席に対し)19,640名の立候補者名が最終リストに記載されるとのコミュニケを発表した。

ウ 大統領選挙及び国民議会選挙の立候補者名暫定リスト発表

・24日深夜、独立国家選挙委員会(GENI)は、大統領選挙及び国民議会選挙の立候補者暫定リストを発表した。

・大統領選挙へは25名が立候補し、うちベンバ MLC 党首を含む6名が不受理と判断され、暫定リストには19名が記載された。

・国民議会選挙(定数500)へは15,505名が立候補し、うち282名が不受理と判断され、暫定リストには15,222名が記載された(当館注:当地国連の調べでは、不受理は127件)。

2. 外交

(1) カビラ大統領のアンゴラ訪問

・2日、カビラ大統領はロウレンソ・アンゴラ大統領の招きを受け、首脳会談を含む2日間の滞在のためルアンダに到着した。ローレンソ大統領は、カビラ大統領からコンゴ(民)の選挙プロセスが順調に進んでいる保証を受けたと述べた。同会談は当初7月23日に予定されていたもの。今回の

訪問にはシェ・オキトゥンドゥ外相、マキラ運輸相、メンデ・メディア相等が同行した。

(2) ラマポーザ南ア大統領のコンゴ(民)訪問

・10日、ラマポーザ南ア大統領は、訪問先のザンビアからキンシャサに到着し、カビラ大統領と会談した。

(3) ルアンダでの地域ミニサミット(SADC-ECCAS-ICGLR)

・14日、ロウレンソ・アンゴラ大統領の招きで、6か国の首脳(アンゴラ、コンゴ(共)、ガボン)及び外相(コンゴ(民)、ルワンダ、ウガンダ)が参加したミニサミットがルアンダで開催された(コンゴ(民)からはシェ・オキトゥンドゥ外相が出席)。同サミットの宣言では、コンゴ(民)に関し、カビラ大統領が憲法を遵守したことが称賛された。

(4) カビラ大統領の SADC 首脳会合参加(ナミビア)

・17-18日、カビラ大統領は2日間にわたり開催された第38回 SADC 首脳会合のため、ウイントフックを訪問した。17日、カビラ大統領はラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記を、参加していた首脳に紹介した。

(5) カビラ大統領のムナンガグワ・ジンバブエ大統領就任式出席

・26日、カビラ大統領は、ムナンガグワ大統領の就任式に出席するためハラレに到着し、27日までジンバブエに滞在した。

3. 東部及び大湖地域情勢

(1) 南キブ州ブカヴで住宅197軒を焼く火災発生

・17日、南キブ州ブカヴ市のバラック住宅密集地で火災が発生し、住宅197軒が全焼、40軒が半焼した。火元は、子どもの調理中に火が燃え移ったもの。イバンダ地区長によると、この火事で500家族が住む家を失った(18日付 AFP)。

(2) 北キブ州ベニで ADF がコンゴ(民)国軍(FARDC)を攻撃

・24日、エボラ出血熱が流行している北キブ州ベニ市中心部から5キロの地点で、ADF(民主同盟軍、ウガンダ系反政府武装勢力)が FARDC を襲撃し、約10名の兵士が死亡したと、ハズカイ FARDC 報道官が発表した。エボラ対策関係者に被害は発生していない模様(25日付 AFP)。

4. その他

(1) コンゴ(民)の状況に関する AUC 委員長声明

・6日、ムーサ・ファキ AUC 委員長は、コンゴ(民)の状況に関し、すべてのコンゴ(民)人の権利が、コンゴ(民)憲法、適正なアフリカ及び国際的機関によって保障されるように尊重され、公平な選挙戦に必要な環境を整えるために緊張緩和の措置をとるようコンゴ(民)政府に求める声明を発表した。

(2) コンゴ(民)の選挙プロセスに関する EU 声明

・6日、EU 欧州対外行動庁(EEAS)は、コンゴ(民)の選挙プロセスに関し、すべてのコンゴ(民)人の権利と自由を尊重すべきという、AUC 委員長によるアペールを全面的に支持するとの報道官声明を発表した。

(3) 大統領選挙立候補届出に関するコンゴ・カトリック司教会議(CENCO)のコミュニケ

・6日、2016年12月31日の政治合意を調停した「コンゴ・カトリック司教会議(CENCO)」は、コ

ンゴ(民)の選挙プロセスに関し、特に、当局がカトゥンビ元カタンガ州知事の帰国を認めなかった件に言及し、カトゥンビ氏が立候補届出を行うために帰国させるよう求めるコミュニケを発表した。

(4) Filimbi 活動家に3年の求刑

・17日、昨年12月31日にカトリック非聖職者調整委員会(CLC)が呼びかけた平和的デモ行進で逮捕された Filimbi (若者による民主化推進グループのひとつ)のメンバー5名(Carbone Beni 等)に対し、検察側は3年の懲役を求刑した(17日付 AFP)。

(5) 世界教会協議会のコンゴ(民)訪問

・21日、世界教会協議会(Conseil oecumenique des Eglises)のミッションが2日間キンシャサを訪問し、指紋のない選挙人登録、投票機器(machine a voter)の使用、政治緊張緩和の状況などについて懸念を表明した。一方で同ミッションは、コンゴ(民)政府が選挙費用を賄うこと、選挙日程が尊重されている点等を歓迎した(21日付 AFP)。